

## 大友良英ディレクションによる参加型音楽祭典 アンサンブルズ東京

～これまでの集大成となる動画・テキストコンテンツを2/27公開～  
**大友良英、芳垣安洋、非常階段、さや(テニスコーチ)、角銅真実が参加**

### 【4つのポイント】

1. 6年にわたり実施してきた大友良英ディレクション・参加型音楽フェスティバル「アンサンブルズ東京」が今年度で終了
2. 集大成として、ハンドサインを使いみんなで音楽を演奏する方法を動画・テキストにて無料公開
3. オンラインワークショップで一般参加者とアーティストがコラボレーションしたアンサンブル動画を無料公開
4. 3/18(木)に DOMMUNE に出演決定

アンサンブルズ東京は、誰もが参加できる音楽フェスティバルとして、音楽家・大友良英のディレクションのもと、参加したすべての方がそれぞれの立場やあり方を超えて、自分たちの手で新たな音楽の場を作り上げることを目指し2015年より実施してきましたが、今年度で開催を終了することとなりました。

今年度は、コロナ禍の状況を鑑み、東京タワーでのイベント開催を中止することとなりましたが、今までアンサンブルズ東京で行ってきた、アーティストと参加者が共に演奏し音楽を作る取り組みを、オンラインワークショップという形で実施しました。オンラインワークショップでは、国内外から多くの方々に参加いただき、アーティストと場所や立場を越えて一つになったアンサンブル動画が完成し、2/27(土)より、無料で配信いたします。世界的に活躍し日本を代表するノイズアーティスト「非常階段」、アートや音楽の枠に捕らわれずに活躍するテニスコーチのさや、注目の若手音楽家・打楽器奏者の角銅真実、本イベントには毎年参加の芳垣安洋と Orquesta Nudge! Nudge!、本イベントのディレクションを担う大友良英らが参加し、プロジェクト FUKUSHIMA! 監修のもと、一般の参加者はカラフルな布を背景に演奏し、動画の中で一つの大風呂敷が作り上げられています。

また、今年度で終了となるアンサンブルズ東京の中でこれまで培ってきた、ハンドサインを使いみんなで音楽を演奏する方法をまとめた動画やインタビューテキストを無料にて公開いたします。

そして、ライブストリーミングスタジオ「DOMMUNE」にて、3/18(木)に、今年度ワークショップを実施したアーティスト等の出演が決定いたしました！今年度で終了となるアンサンブルズ東京にぜひご注目ください！



アンサンブルズ東京 2020 オンラインワークショップ アンサンブル動画より



大友良英 ハンドサイン教材動画より

### 芸術監督 大友良英より

「誰でも参加できる」を合言葉に2015年から始まったみんなで作るフェスティバル「アンサンブルズ東京」。最終年の2020年は盛大に盆踊りで幕を閉じたかったのですが、コロナ禍がそれを許してはくれませんでした。人が集まれない、密になれないというのは、音楽にとって、とりわけ多くの人たちが参加する「アンサンブルズ東京」のような音楽の現場にとっては、羽をもぎ取られたような感覚でした。

とはいえ、くよくよ悩んでいても仕方ありません。頭を切り替えて、オンラインでのワークショップの可能性を探りつつ、これまでやってきたことが何であったのか、誰もが参加出来るようにするにはどんな仕組みや発想、思想が必要なのかといったことを、少しでも記録に残して、この先に伝えることに力を入れることにしました。

わたしがこのフェスティバルで構想していたのは、音楽の経験のあるなしは一切関係なく、老若男女、誰でも等しく参加できる音楽の祭りをやることでした。背景には東日本大震災を経て、この先、どんな未来を創っていったらいいかという問いが常にありました。自分たちの手で音楽を創っていく中で、この問いを多くの人たちとシェアしていければと考えていました。そして本当に多くのみなさんがこの「祭り」に参加し「祭り」を創ってくれました。そのことが何よりも嬉しかったし楽しかったです。

「アンサンブルズ東京」はこれで終わりますが、音楽も祭りも人がいる限りどこかでずっとずっと続いていくものです。この先も、ここで経験したこと、音を出したり踊ったりしたことが、みなさんの未来に繋がっていくことを信じています。

2021年2月吉日 アンサンブルズ東京 芸術監督 大友良英

追記 震災から10年、思うことあって、様々な現場で祭りのディレクターのような仕事をしてきましたが、おそらくこの肩書きで何かをするのは、これが最後になると思います。この先は、いち音楽家として、みなさんとどこかで出会えることを楽しみにしています。

## 【アンサンブルズ東京 オンライン概要】

■イベント開催目的：音楽家・大友良英氏のディレクションの下、参加した全ての人たちがそれぞれの立場やあり方を超えて自分たちの手で音楽の場を作り上げることを目的に実施。東京の独自性や多様性を追求しながら芸術文化の力を広く発信することを目指した参加型の音楽フェスティバル。

- 動画・テキスト公開：2021(令和3)年2月27日(土)～
- 公開方法：公式ウェブサイト(<https://www.ensembles.tokyo/>)にて
- 参加アーティスト：大友良英、角銅真実、さや(テニスコート)、非常階段、芳垣安洋とOrquesta Nudge! Nudge!



- 芸術監督：大友良英
- 美術・装飾：プロジェクト FUKUSHIMA!
- 主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、アンサンブルズ東京実行委員会【P3 art and environment、特定非営利活動法人大丸有エリアマネジメント協会、株式会社文化放送】
- 助成・協力：東京都



アンサンブルズ東京 2020 参加アーティストワークショップ動画より

### 【アンサンブルズ東京 DOMMUNE 出演決定！】

今年度で終了となるアンサンブルズ東京について、ワークショップに参加したアーティスト等によるトークやセッションを行います。



- 日時：3月18日(木)19:00～22:00(予定)
- 無料配信：DOMMUNE (<https://www.dommune.com/>)にて
- 出演(予定)：大友良英、非常階段、さや(テニスコート)、芳垣安洋、角銅真実、山岸清之進(プロジェクト FUKUSHIMA!)ほか

※当日は、感染症対策を十分に講じた上で実施します。

### 【芸術監督：大友良英 プロフィール】

ギタリスト/ターンテーブル奏者/作曲家/映画音楽家/プロデューサー

1959年横浜生れ。十代を福島市で過ごす。常に同時進行かつインディペンデントに即興演奏やノイズ的な作品からポップスに至るまで多種多様な音楽をつくり続け、その活動範囲は世界中におよぶ。映画音楽家としても数多くの映像作品の音楽を手がけ、その数は70作品を超える。

近年は「アンサンブルズ」の名のもとさまざまな人たちとのコラボレーションを軸に展示する音楽作品や特殊形態のコンサートを手がけると同時に、障害のある子どもたちとの音楽ワークショップや一般参加型のプロジェクトにも力をいれ、2011年の東日本大震災を受け福島で様々な領域で活動をする人々とともにプロジェクト FUKUSHIMA!を立ち上げるなど、音楽におさまらない活動でも注目される。

2012年、プロジェクト FUKUSHIMA! の活動で芸術選奨文部科学大臣賞芸術振興部門を受賞、2013年には「あまちゃん」の音楽他多岐にわたる活動で東京ドラマアワード特別賞、レコード大賞作曲賞他数多くの賞を受賞している。



### 【美術・装飾：プロジェクトFUKUSHIMA!】

2011年3月11日の東日本大震災後、福島を現在と未来を世界に発信することを目的に、音楽家・遠藤ミチロウ、大友良英と詩人・和合亮一を代表とし、福島県内外の有志によって結成。「フェスティバルFUKUSHIMA!」を毎年8月に福島で開催。中崎透、アサノコウタらの美術部による「福島大風呂敷」は、毎回フェスティバルの会場に広げられ、プロジェクトのビジュアルアイコンとして定着している。2015年より山岸清之進が新代表に就任。各地域で自主的な活動も始まっている。

### ■角銅真実



音楽家、打楽器奏者。長崎県生まれ。マリimbaをはじめとする様々な打楽器、自身の声、言葉、オルゴールやカセットテープ・プレーヤー等身の回りのものを用いて、自由な表現活動を国内外で展開中。自身のソロ以外に、バンドceroのサポートをはじめ、原田知世やORIGINAL LOVEなど、様々なアーティスト

のライブへの参加、レコーディングで携わるほか、CM・映像、ダンスやインスタレーション作品への楽曲提供・音楽制作を行っている。2020年1月、初めて「うた」にフォーカスしたアルバム『oar』(ユニバーサルミュージック)を発表。近年は原田知世や石若駿の作品に作詞家として歌詞を提供するなど、言葉にも表現領域を広げている。7月にはBunkamuraシアターコクーンで上演された演劇作品『プレイタイム』の音楽を担当。

### ■非常階段:JOJO 広重



1959年京都生まれ。1979年結成のノイズバンド「非常階段」やソロで40年超の即興演奏活動を継続中。主にギターを使ったノイズを展開している。現存する日本最古のインディーズレーベル「アルケミーレコード」も運営し、現在は音楽活動の傍ら東京下北沢の自身のお店で易者としても活躍中。

### ■さや(テニスコート)



1995年よりmajikick records、1997年よりテニスコートで活動、近年は、日独英の混合バンド Spirit Fest や、管楽団さやえんどうで活動。2020年は、Japanese Indie コンビ編纂、Tenniscoats LP Box、Spirit Fest ニューアルバムをMorr Music・After Hours よりリリース、また、ストリーミングサイト Minna Kikeru を立ち上げ、共同運営。テニスコート『さべつとキャベツ』含むアルバムを

配信リリース。ワークショップは、アンサンブルズ東京、音遊びの会、西成子どもオーケストラなどに参加・行う。その人その人の声から生まれる音楽、また、それぞれの人が感じ取っている音楽に興味がある。

### ■非常階段:T. 美川



1960年生まれ。非常階段のメンバーであり、自身のユニット「INCAPACITANTS」でもノイズ演奏を追求する即興演奏家。一般的な楽器は使用せず、エフェクターや発信器、マイク、特殊な電子音発信器を組み合わせでの演奏を展開している。国内はもちろん海外からの作品リリースも多い。最近はソロ、セッションなどの活動も行っている。

### ■芳垣安洋と Orquesta Nudge! Nudge!

芳垣安洋

ジャンルを飛び越えてビートとメロディーを紡ぐ打楽器奏者。兵庫県出身。'90年代、Altered States、モダン・チョキチョキズ、洪さ知らズ、Ground Zero、ROVO、DCPRGなどのジャズ〜アヴァン・ポップを牽引したバンドのメンバーとして活動。大友良英、内橋和久、スガダイロー、山下洋輔、坂田明、菊地成孔、柳原陽一郎、おおはた雄一、UA、ROLLY、カルメン・マキ、ホッピー神山、レナード衛藤、ヤドランカ、ビル・ラズウェル、ジョン・ゾーンなど様々なミュージシャンと共演。大編成ジャズグループ「Orquesta Libre」打楽器アンサンブル「Orquesta Nudge! Nudge!」他多様なグループを主宰。海外公演も多数。「リズム&ドラムマガジン」にコラムを連載中。文学座などの舞台演劇、「Co.山田うん」などのコンテンポラリー・ダンス、映画、TVドラマ、アニメーションなどの音楽制作にも数多く携わる。

Orquesta Nudge! Nudge!

ドラマー芳垣安洋が、2003年に結成した打楽器集団。岡部洋一、高良久美子、関根真理、Taichi、Ryudai、Izpon、辻コースケ、高田陽平、中里たかし、という様々なジャンルから集った個性的なメンバーが、構築された楽曲と即興的なアプローチの混在したアンサンブルを作り上げる。伝統と現代ミクスカルチャーを繋ぐトライバルなリズム、現代音楽からストリートまでもを包括するサウンドが魅力である。都内のライブハウスを中心に活動し、フジロックのイベントにも参加。



※内容は都合により変更になる場合があります。

本事業についてのお問い合わせ： アンサンブルズ東京実行委員会 事務局 担当： 田村武  
TEL 080-3153-0914 Email [info@ensembles.info](mailto:info@ensembles.info)  
公式ウェブサイト(<http://www.ensembles.tokyo>)